

「誇りを持ち魅力あふれ、安心して信頼される歯科医師会」 を目指す歯科医師会の取り組み-プログラム作りとプロセス評価

○ 梶谷 彰 (かじたに あきら 粕屋歯科医師会)
筒井昭仁 (福岡歯科大学口腔保健学講座)

【背景】福岡市に隣接する1市7町を範囲とする粕屋歯科医師会(会員数97名)では、歯科医院過剰や未入会者増等の問題を抱えている。会は状況打破のため特別委員会を設け、会員や地域関係者の意見を取り入れ全11回の会議を経て「粕屋歯科医師会21世紀プロジェクト」をまとめ、「誇りを持ち魅力あふれ、安心して信頼される歯科医師会」をめざす決意をした。

【目的】目的は3つで、会員には「誇りを持ち魅力ある会」を、地域住民には「安心して信頼される会」を、その基盤となる組織として「時代の変化に対応できる会」を作ることである。

【方法】委員会ではまず自由な意見交換の下に将来構想検討する上での原則として、1)粕屋に限定2)会員のコンセンサス3)地域との関わり重視4)理想の姿想定5)絵に描いた餅にしない、を確認した。

2回目からはグループワークを主に進め、KJ法で将来のあり方を集約しOPPAモデルをベースに構造図を作成した。さらに下部構造のカードから122項目の行動目標案をまとめ、全会員に返し優先順位を付けてもらった。また地域事業の項目は関係行政職員や養護教諭にも優先順位付けを依頼した。

会員と関係者で順位に差のある項目があったため、会員の上位40項目に関係者高得点の12項目を加えた52項目を重点事業とした。最終的にはこれらを会員事業、地域事業、機構改革の3課題の下に21の行動目標として整理した。

2008年度からは行動目標別に活動計画をたて事業の実現化を図っているが、推進機関として従来の委員会を横断包含した3つの合同委員会(会員事業、地域事業、機構改革)と、プロセス評価を行う特別委員会を設けた。

【結果】3つの合同委員会で行動目標の優先順位付けを行い、最初に取り組むものとして、会員事業で①歯科衛生士確保、②医療事故処理システム、地域事業で③本会アピール、④妊産婦口腔管理、⑤安全安心計画、機構改革で⑥会員意識改革、⑦組織・事業再構築を選定した。

次に各行動目標について具体策のアイデアを書き出し、実現可能な48の活動計画を作成した。なお、地域事業の「本会アピール」の活動計画のひとつであった「会員診療所にAED設置」をふくらませ「安全・安心計画」として行動目標に格上げし、機構改革の行動目標を整理統合した結果、行動目標は18となっている。

2008-10年度の最初の3年間では、全活動計画48のうち33が順次実行に移されている。特に、AEDの全会員診療所への設置、講習受講の様子はTVや新聞紙上で紹介されたこともあり全医院の子ども110番掲示と共に地域に対する強力な「安全・安心」メッセージとなっている。

10年間で全18の行動目標について活動計画を作り実施していく予定だが、最初の3年間で7つの行動目標の48の活動計画のうち33が実施済み、実施予定であり、良好なプロセスといえる。2011年度は、推進態勢をさらに強化するため合同委員会を事業部に昇格する予定である。

【ラウンドテーブルでの検討課題】

- 1) 会員事業・・・法律や制度上の問題
- 2) 地域事業・・・関係者や住民との連携
- 3) 機構改革・・・会員の意識改革

**歯科分野、市町行政、学校関係者の参加
をお願いします。**

(連絡先) 梶谷 彰 (粕屋歯科医師会)

E-mail : akiraka@smile.odn.ne.jp